

福島県昭和村教育大綱

(令和3年6月28日改訂)

基本目標 「人と文化が息づく教育・文化の村づくり」

生涯にわたって学び続け、自己を高めていくことができる村づくりの一環としての学習環境作りを総合的に進め、生きる力や豊かな心の育成を重視した学校教育の推進、そのための学校教育環境の整備充実、青少年の健全育成等、次代の昭和村を担う創造力と豊かな心を持つ人財の育成に努めます。

また、村民の芸術・文化・スポーツ活動、姉妹都市や大学、ボランティア団体等との交流活動を

支援していくとともに、昭和村の美しい風景や伝統文化等の地域資源をはじめ、有形・無形の貴重な自然・文化遺産の保護と活用を図り、特色ある昭和村のよさを生かした文化の村づくりを進めます。

昭和村の教育を充実させ、より魅力あるものにする中で、「昭和村で子どもを育てたい」と定住・移住する若者が増えるよう取り組みます。

○生涯学習社会の確立

村民の誰もが、生涯にわたって楽しく学習できるよう、利用しやすく快適な学習拠点作りを進め、多様な学習ニーズに対応した場と機会を提供するよう努めます。

村民の学習意欲が更に高まるよう、新たな知識や人との出会いと質の高い情報の提供に努め、ゆとりや生き甲斐、心の豊かさを実感できる学習環境作りを進めます。

また、生涯学習を通して、村民相互の交流と仲間づくりにつながるよう配慮するとともに、昭和村を愛し、村づくりに進んで貢献しようとする人財の育成を目指します。

○生涯スポーツの振興

村民が楽しみながら仲間づくりや健康増進ができるよう、村民の活動目的やニーズに合ったスポーツ・レクリエーション活動を推進します。

また、スポーツの普及と体育団体の育成、競技力の向上などを図るため、指導者の確保と育成に努めます。

多様化するニーズに対応し、安全にスポーツやレクリエーションができる環境を維持するために、施設・設備の点検と整備を計画的に実施します。

○学校教育の充実・青少年の健全育成

子ども達が、自立する上で基礎となる気力・体力・学力等を高め、自己肯定感と人間力の育成に努めます。また、よりよい教育環境の中で学ぶことができるよう、教育施設・設備の整備を図るとともに、子ども達にとって最大の人的環境である教職員の確保と資質向上に努めます。

少人数教育の利点を生かした個に応じた教育を実現できるよう、幼児期から義務教育修了までを見通し、保育所・小学校・中学校の連携、及び学校・家庭・地域・関係機関との連携に努めます。

子ども達が人間性・社会性豊かで、村の将来を担う逞しい人財に育つよう、昭和村の美しい自然や様々な人々との関わりを重視した体験的な活動を取り入れます。同時に、昭和村のよさを再発見し、故郷を愛する心を養うことができるよう配慮します。